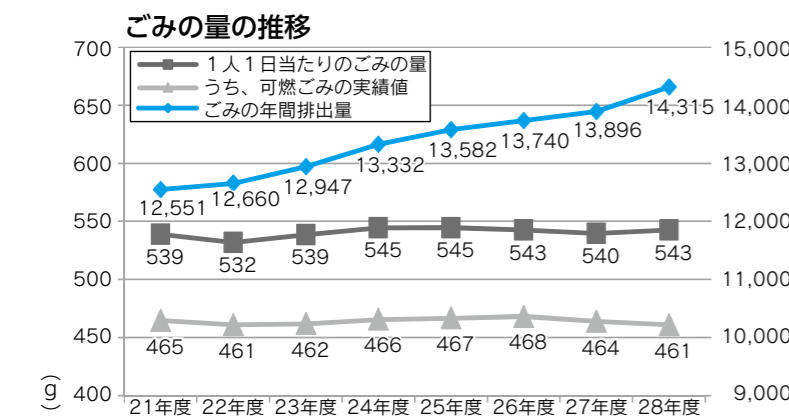
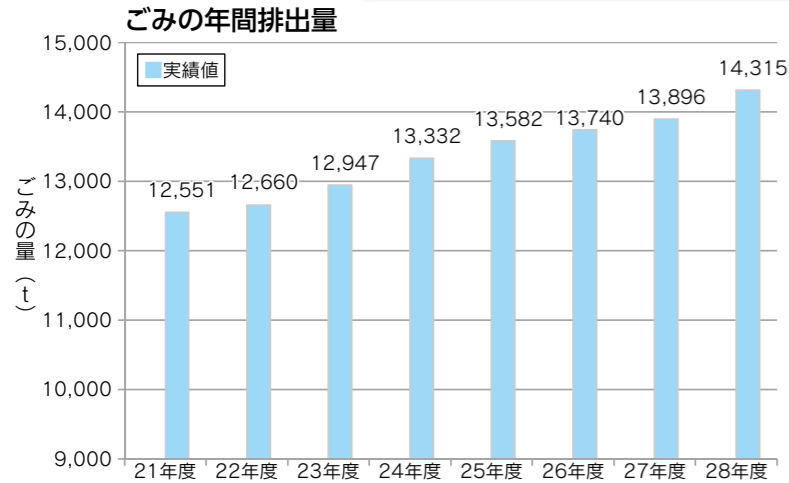


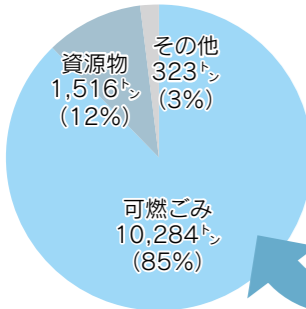
# 環境通信



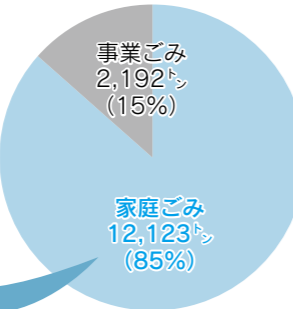
問い合わせ先 環境衛生課(合志庁舎) ☎248-1202



## 家庭から出るごみの内訳



## 平成28年度ごみの内訳



● **とき**  
7月22日(土) 午前7時～  
※雨天中止の際は市ホームページで午前6時ごろお知らせします。

● **ところ**  
・上生川(中尾橋付近)  
・塩浸川(城戸内橋・江良橋付近)

● **集合場所**  
上生川: 沖田橋  
塩浸川: JA上庄倉庫前  
栄体育館

平成28年度のごみの年間排出量は14,315トでした。熊本地震の影響もあり、昨年度より419ト増加しています。1人1日当たりのごみの量は、543g(500mlのペットボトル1本分)で、3g増えました。可燃ごみだけを見ると1人1日当たり461gで昨年度より3g減少。平成26年度をピーク

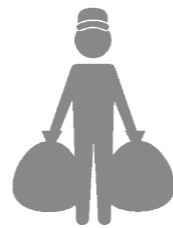
に減少傾向にあり、少しずつ取り組みの成果が表れています。家庭から出るごみの約85%は可燃ごみ。可燃ごみには、紙類などの資源物が多く混ざっています。資源物になるものは資源物の袋で出すか、地域の資源物回収団体に引き渡すことで可燃ごみの量

を減らすことができます。また、家庭から出る可燃ごみの多くは生ごみですが、この生ごみの約80%は水分と言われています。生ごみを出す前に、絞って水切りを行なうなど、手間を少し加えることでごみの量を減らすことができます。皆さんのご理解とご協力をお願いします。

ごみの減量化を進めましょう

1人1日当たりごみを

543g削減しましょう



「くまもとみんなの川と海(つくりたい)河川美化活動

有明海などの海の環境悪化が社会問題となったことをきっかけとして始まった活動で、県内各地で河川や海岸の清掃活動などが行なわれ、市でも例年河川の美化活動を行なっています。本年度も美化活動を計画しましたのでご協力をよろしくお願いします。

## 「どうする財政?」シリーズ②

皆さんは国の財政状況を知っていますか

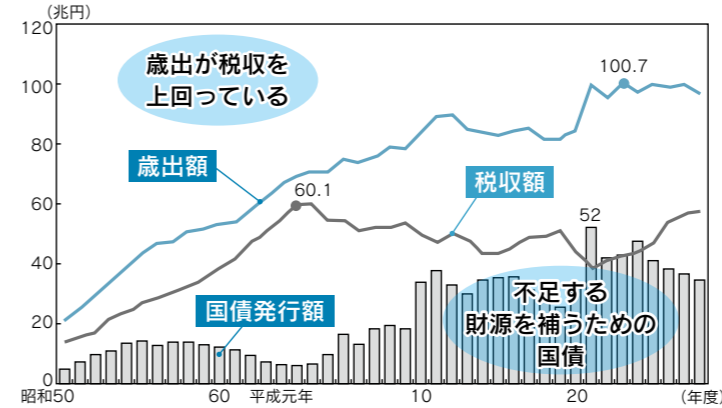
▼問い合わせ先 財政課 財政班(合志庁舎)  
☎(248)1697

先月号からスタートした本シリーズ。1回目は少子・高齢化と人口減少社会が財政に与える影響について考えてみました。今回は国の財政について考えます。

### 国に頼らず財政運営を行なう自治体は3.4%

日本の市町村は1、718団体ありますが、国からの交付金に頼らず運営している市町村(不交付団体)は、平成27年度でわずか59団体です。本市は約65%の財源を国に依存していますが、同様に全国の96.6%の市町村は財源の多くを国に依存しています。では、市町村の財政を支えている国はそんなに財源が豊かなのでしょうか。図1は国の一般会計予算の推移です。上の折れ線が歳出、下の折

【図1】国の一般会計予算における歳出・歳入の推移



【図2】平成28年度の国の予算額(96兆7,218億円)

項目	金額 (兆円)
借入金	23兆6,121億円
歳入	96兆7,218億円
税金以外の収入	4兆6,858億円
国民が納める税金	57兆6,040億円
新たな借入金	34兆4,320億円
政策にかかる費用	73兆1,097億円
・社会保障費	31兆9,738億円
・自治体への交付金	15兆2,811億円など

【図3】国債発行残高の推移

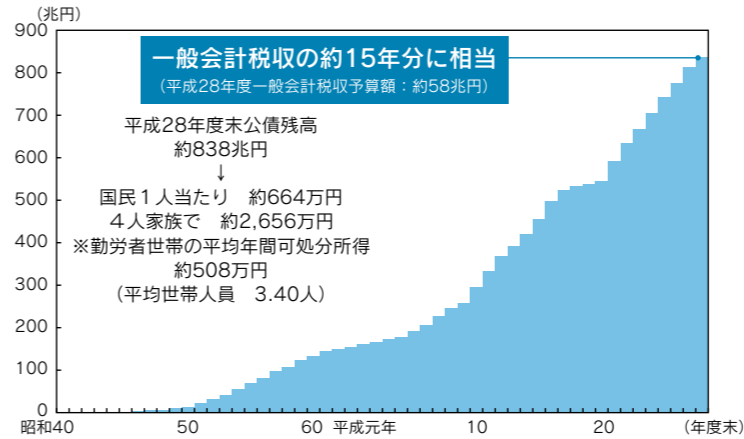


図3は財務省が公表した国債発行残高の累積額です。平成6年度末に207兆円だった借金が平成28年度末には838兆円に達し、約20年間で4倍になり、毎年過去最高額を更新しています。しかも、この状況は今後も続く見込みで、債務残高は国の税収の約15年分です。これを国民1人当たりで換算すると、約664万円の借金を抱えている計算になります。

【図4】債務残高の国際比較(対GDP比)

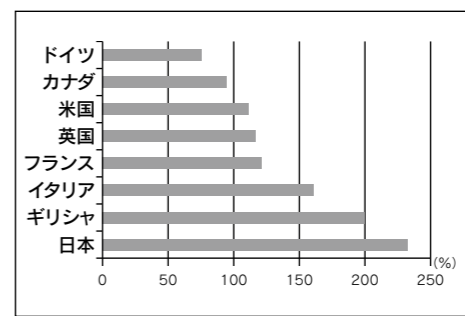


図4は債務残高の対GDP(※1)の国際比較です。日本は先進国・経済大国の一つと言われていますが、実は先進国の中で突出してこの比率が高く、既に財政破綻したギリシャよりも高い状況です。

※1 国内で生みだされた財サービスの付加価値の総額

※図1、図3、図4は財務省ホームページ公表資料をもとに作成。